

あらぐさ

共立高等看護学院 第41期生入学式



入学の日 2019.4.9

第41期生 入学式 祝辞

第41期・新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。心よりみなさんを歓迎いたします。

これからの3年間、多くのことを学んで下さい。あなたがこれから学ぶ医療・看護は、多くの先達言葉に言いあらわれない苦勞をして築き上げられたものの結晶からできています。かのナイチンゲールがクリミア半島の戦地に赴いたのは1854年、今から165年前ですが、この時から近代看護が芽生え、以来一世紀半の時をかけて目覚ましく発達してきました。例えば、今から35年ほど前の1980年代、私がまだ学生だった頃、治療法も特効薬もないエイズウイルスという未知のウイルスが出現し、世界中で奇病として扱われ、発症後1、2年で死に至る病として世界中を震撼させ、大混乱に陥れました。日本でも、あちこちでパニックが起り、一部の外国人を排斥するようなことまで起こりました。当時、エイズ患者の診療は、拒否され、病気の研究すらも恐れられ、多くの医療従事者や研究者が、この不治の病を遠ざけていました。私はまだ学生でしたが、無知と偏見と恐怖から、この病気には関わりたくないと内心考えていました。しかし、まさにその時代に、この病気の原因ウイルスに果敢に挑み、ひょっとしたら自分も感染してしまったり、さらに、愛する家族にも広げてしまうかもしれないという凄まじい恐怖とも闘いながら、日本人医師・満屋裕明先生は、エイズウイルスの増殖を抑える薬AZTを、見事に世界で初めて発見し、開発したのです。あなたたちが先日受け取った膨大とも思えるような教科書に、たった一行記載されている、今では不治の病ではなくなったエイズに対する治療薬の話です。これから、あなたたちが学ぶ医療・看護学は、こういった努力や多大な犠牲の上に築かれた技術であり、学問です。是非、真剣に学んで下さい。

学ぶということは、これからあなた達が何歳になっても必要なことです。医師や看護師は、生涯を通して学習が必要な職業であり、また何歳であったとしても、真面目に学習することは、胸を張って取り組む価値のあることです。丁度、昨日、皆さんと同じ年の女性が日本大学に入学したとニュースで報道されました。皆さん方もよくご存知の白血病で闘病中の競泳選手です。残念ながら、闘病中のため大学の入学式には出席出来なかったようですが、昨日まで開催されていた競泳の日本選手権の会場には、日本中から多くの選手や関係者、ファンが、池江選手へのメッセージを寄せ、それが掲げられていたそうです。幸いにも、今日ここに集うことが出来たあなた達は、少なくとも彼女よりは、学習に集中できる環境にあります。そして病と闘っているのは彼女だけではありません。今から3年後には、そのような病に苦しむ人々に寄り添い、看護することができることを目標に、真剣に、学習して下さい。

ところで、看護学校には、授業や校内実習だけではなく、病院等での臨地実習があります。通常の試験もあり、研究発表もあります。そして、最後に看護師国家試験という難関が待っています。この試験を乗り越えるのは、決して楽ではありません。毎年、私も学生になったつもりで問題を解いていますが、きちんと準備しないと立ち向かえないことを実感しています。でも大丈夫です。先日卒業した38期生は、見事、全員を果たしました。これで、皆さんの先輩達は、9年連続で、看護師国家試験に全員合格、百パーセント合格を果たしています。これは、毎年、6万人以上の看護師を目指す若者が、この国家試験に挑み7千人近くの受験者が涙をのんでいることを考えれば、本学院の誇るべき実績です。学生達の頑張りや、教職員の指導、そして、御家族のサポートのたまものです。

皆さんにとって、これからの三年間は、貴重な青春真っただ中の三年間です。学校は、決してレジャーランドではありません。しかし、楽しく学べる場ではあって欲しいと願っています。あの三年間を本学院で過ごして良かったと思えるような学校づくりを私共教職員と皆さんとで目指しましょう。

御家族の皆様にもお願いがあります。大きくなったとはいえ、まだまだ未熟な点も多い若者たちです。三年間で学ばなければならない医療・看護の知識は膨大です。また、医療現場にはテレビドラマや映画などからは計り知れない大変な事例や困難な問題等が山積しています。このように何かと大変なことも多いので、御家族のサポートが絶対必要です。学校へのご協力もいただき、相持って育て、支えていきましょう。

最後に、今日が41期・新入生の皆さんにとって、看護師という医療人を目指す最良のスタートの日となることを祈願して、お祝いの挨拶といたします。

2019年4月9日

共立高等看護学院 学院長 内藤恵一

入学後の様子 1年生：鈴木

学校生活に少しずつ慣れてきた1年生。これまでの“教えてもらう事を覚える”勉強法でなく“自ら課題を見つけ解決していく積極的な学びの姿勢”が看護学生として求められています。専門用語だらけの授業や看護学生になったと改めて実感する白衣での校内実習。それらを通してその必要性を感じ、能動的に学ぼうと努力している学生達はとても素敵です。クラス目標「万里一空」～看護師という目標を見失わず、努力し続ける～41期生の成長する姿を楽しみにしています。



「看護師になる」という自覚 2年生：酒井

2年次は実習の年。40期生は6月から始まる実習、更にその後続く4カ月実習に向け、着々と準備を進めています。看護学生と呼ばれるようになって1年、1人1人の意識も高まり、「看護師になる」という目標を見据え、地に足のついた生活を送ることができているように感じます。看護に必要な技術や知識の習得のみにとどまらず、人と接する態度や言葉遣いなど、自己中心的な物の見方でない「他者性」も育っているように感じます。

日常生活を共にするクラスメイト、臨地実習で出会う職員や、担当させていただく患者さんとの関わりを通して、40期生が更に成長することを期待しています。

為せば成る、為さねば成らぬ何事も。2年次もみんなで一緒に頑張っていきましょう。



最終学年になりました 3年生：岩波

3年生は30名でスタートをきりました。4/12（金）には春のケース発表会が行われ、2年生の後半に実習で受け持った事例について、行ってきたことの意味を考え、一人ひとり発表をしました。最終学年になったことに不安を口にすることもありましたが、発表を終えた後は3年生らしい表情に変化しています。さらに、看護学生としての自分の軸を見つけたようです。今は授業に加え、精神看護学実習や地域看護学実習に向けた準備、社会福祉演習、国家試験対策など…最終学年の大変さを実感しつつ、39期生らしく楽しそうに毎日を送っています。一年次から掲げているクラス目標「初志貫徹」になるように、最後の年であるこの一年、精一杯努力していこう。



多くの学びと経験が深く根をはり、蕾が花開いた3年間 - 38期生卒業

暖かな春の訪れを感じる2019年3月8日、澄んだ青空に見守られ、38期生39名は卒業いたしました。3年間の思いがたくさん詰まった答辞、呼びかけ、合唱に会場は温かい空気に包まれ、38期生らしい式となりました。

1・2年を経て、これまでの学びを統合し、授業、実習、国試対策などに全力で取り組みました。どれもこれも一人で乗り越えられるものではなく、仲間がいたから“ひとりじゃないから”、最後に国試全員合格という大輪を咲かせることができたのだと思います。終わりがあれば始まりがあります。国試合格を経て、ようやく看護師としてのスタートラインにみなさんは今立っています。38期生のみんななら大丈夫！

これまでご支援いただきましたご家族の皆様、臨床の皆様をはじめ、38期を様々な形で支えていただいた全ての皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。（鈴木美緒）



2019年度教職員紹介

学院長：内藤恵一

専門領域：保健医療論



共立高看護学院長5年目になります。甲府共立病院外科では麻酔を担当し年間400件ほどの手術をマネジメントしております。休日は専らトレイルランニングに明け暮れ、先日168kmウルトラトレイル・マウントフジには救護スタッフとして参加しました。

副学院長：小泉京子

専門領域：統合分野



教務主任：河西光子

専門領域：成人看護学



学生さんが、患者さんの立場にたてる看護師さんになれるよう、本校の特徴を生かしたカリキュラムを教員集団で追求しています！私が現在取り組んでいるテーマは「子どもの貧困」です。できることからまずは行動していきます。

私が大切にしていること。

1. 看護には可能性がある。
 2. 看護には終わりが無い。
 3. 答えは学生自身の中にある。
- 学生たちが教員を超えていけるような学校を力をあわせて創りたいと思っています。

学生みなさんが参加する
実習全般に関わる業務に就
いています。みなさんが実
習で豊かに学べるよう日々
奮闘しています。

実習は大変ですが、患者さ
んから教えて頂く看護はか
けがえのないみなさんの大
切な経験になっています。
実習で、楽しく一緒に看護
を学びましょう。



実習調整者：梶原奈津子
専門領域：基礎看護学

母性看護学担当の助産
師です。通っている大学
院では課題に苦労しな
がら、学生ってこんな気
持ちなんだなぁと思う
今日この頃です。共に学
びましょう！
家族は夫、息子、猫2匹
です。



教育活動調整者：河野朝子
専門領域：母性看護学

テーマ「看護学生と向き合うために
必要なこと」

- ㊦ 思い返せば22年前。
- ㊧ 右往左往した新任時代。
- ㊨ 理解し合えない時もある。
- ㊩ 喜びも悲しみも、幾年月。
- ㊪ うまい方法、いまだ見つからず。
- ㊫ 重要なのは、学生への愛情。



教育活動調整者：押領司民
専門領域：精神看護学

看護の可能性を学生と一緒に追
究していきたいです。その人の
病気だけでなく生活まで見るこ
とのできる看護師を育てるた
め、学生とともに地域に出てい
きたいです。今年も地域看護学
の教員とし専門性を高められる
よう自己研鑽に励みます！！

1年生担任：鈴木美緒
専門領域：在宅看護論



担当領域は、小児看護学です。い
つも笑顔で、色々なことにチャ
レンジし、学生と一緒に楽しく学
ぶことをモットーにしています。よ
ろしくお願いいたします。



1年生副担任：藤本未央
専門領域：小児看護学



画像：左下-新緑のいちよう・右中-花壇のすずらん（本学院敷地内）



2年生担任：酒井茉莉耶
専門領域：基礎看護学

教員2年目。今年も学生から多くのことを学びたいです。そして「教育は人なり」。わたし自身も人間力をもっと高めていきたいとおもっています。

わたしが大好きなもの

- たべもの
- MARVEL
- DC Comics
- 40期生のみなさん



2年生副担任：塩澤詩穂
専門領域：成人看護学

教員6年目です。実習指導者を3年間経験し、学生とともに学ぶ楽しさを実感。指導に来ていた教員に「教員どう？」と言われたのを真に受けて教員になり今に至ります。学院で過ごす日々は山あり谷あり。勉強になることばかりです。一步一步の精神で。

教員7年目ですが、まだまだ学生の立場に立てていないな～と反省の日々。今年はもっと学生の声に耳を傾けたい。そして一緒に看護について探求したい。最後に…専門領域は老年看護学で、特に認知症看護について追求中(*^*)v



3年生担任：岩波美和
専門領域：老年看護学

昨年9月に育児休暇を明けて復帰しました。みなさんと一緒に勉強したり、実習にいったりするのがとても楽しいです。今年もよろしくお願いします♡



専任教員：宮川江里
専門領域：在宅看護論

事務長 水上和貴



事務業務を担当します。施設管理、予算と決算書、奨学金、補助金他。

入学式、戴帽式、卒業式と行事の度に新鮮な気持ちになります。よりよい学生生活のために支援します。気軽にお声掛けください。



事務課：豊田裕子

教務補助：三満田美恵
専門領域：英語



実践的な看護英語を効率的に身に着ける方法伝授します！英語は、しゃべるのも、教えるのも、学ぶのも大好きです！！英語苦手人口を地道に減らしていきたいと思っています。英語の事なら何でも聞いて下さい！

人事

- 佐々木あゆみ専任教員 石和共立病院へ異動 2019年4月1日付け
- 2019年度用務業務職員：橘田まつ江・降矢正弘・武舎正志



佐々木あゆみ

「学校生活をよりよくし、諸活動にも全力で取り組みたい」

共立高等看護学院 学生自治会 会長 上田藍 (39期)

共立高等看護学院の学生自治会は今期、6人の執行部です。学生自治会経験者がいない状況下でのスタートとなり、最初は勝手がわからず戸惑いもありました。初夏となった今、全員が自治会の活動に慣れ、落ち着いた雰囲気の中で企画運営を行っています。

4月の新入生歓迎会を皮切りに雑草祭(=学院祭)、自治会総会、フードバンクボランティア、学校への要望提出、原水爆禁止世界大会への代表派遣など多くの活動があります。特に雑草祭は実行委員会を中心に学生が一丸となって祭りを盛り上げようと奮闘します。学生自治会は実行委員会と協力しあって「楽しかった」と笑顔で言われるような祭りを作り上げていきたいと考えています。

任期満了まであとという間だと思いますが、学生からの意見を取り入れながら学校生活をより良いものにできるように尽力したいと思います。



左より：フードバンク活動・新入生歓迎会・河川草刈・原水爆禁止世界大会報告会(2018)



共立高等看護学院

患者の立場に立つ
看護師を目指して

KYORITSU
SCHOOL
OF
NURSING

看護学生募集

学校説明会 いよいよ知ろう

本校 本校の教育目的・カリキュラムの特色、入学試験、授業、学費、奨学金等について個別相談あり
申込はホームページのエントリーシートから

2019年度
7/6(土) 10:00-12:00
7/20(土) 10:00-12:00
10/26(土) 10:00-12:00
11/9(土) 10:00-12:00

オープンキャンパス 体験しよう

本校 模擬授業(講義・実習)本校の特色、入学試験、学費、奨学金、在校生との交流、個別相談あり
申込はホームページのエントリーシートから

2019年度
8/4(日) 9:00-12:00
8/8(木) 9:00-12:00
13:30-16:30

【2019年度入試日程】

入学希望時期	募集日
推薦・社会人入試	2019年10月18日
前期一般入試	2020年1月18日
後期一般入試	2020年2月13日

公益社団法人 山梨県看護協会

共立高等看護学院
〒400-0035 山梨県甲府市堀田3丁目1-35 4F 甲府駅前ビル1F10号室
TEL.055-228-7325 FAX.055-228-7125

<http://www.yamanashi-min.jp/krkk/>

2020年度入学者募集中です。

学校説明会、オープンキャンパスにご参加下さい。

*申し込みはHPより

10/18(金)：推薦入試・社会人入試

1/10(金)：前期一般入試・社会人入試

2/13(木)：後期一般入試

*詳細は「2020年度入学者選抜要綱」にて御確認下さい



父母の会より

■経過・予定

4月 9日 2019 年度総会活動方針・予算・役員決まる
41 期生へ入学式記念写真贈呈

7月27日 第42 回雑草祭（共立高看護学院祭）
カレーづくりと販売

30日 父母の会第 1 回役員会・

各学年部会（学校報告、懇談交流）

11月17日 1 年生戴帽式記念品贈呈

■総会報告を5 月にお届けします。

雑草祭（あらぐささい）のカレー作りに御協力下さい

■2019 年度第1 回役員会：2019 年7 月30 日（火）

学校より

■ 2019 年度の主な計画

- ・看護基礎教育新カリキュラム対応準備
- ・学生用コンピューター入替え（OS 更新）
- ・万能型看護実習モデル購入
- ・神経系・循環系・門脈系神経模型購入（更新）
- ・外壁の劣化防止修繕工事（6 月）
- ・各階照明のLED 化
- ・講堂音響設備更新 他

■諸活動の予定

- ・各種研修会、学会参加
- ・地域活動
- 6 月河川清掃
- 9 月子供クラブ行事への参加（六切地区）
- 11 月えびす講祭り参加
- ・その他の参加予定活動
- 山梨フードバンク活動 他

雑草祭 2019.7.27(Sat)

* 以下は昨年のプログラム

* 詳細近日公表

あらぐささい

9:00 開会	9:30 1 年生発表
10:20 2 年生発表	11:10 3 年生発表
11:50 出店・健康チェック・バンド演奏	
14:00 教職員発表	14:45 女装男装コンテスト
15:00 ビンゴ	15:40 閉会式

◇ 教職員参加の研究・研修 ◇(1 月-3 月)

- ・テーマ「退院マネージメント推進」研修会
- ・テーマ「カリキュラム改正に今からはじめるカリキュラム評価&開発」研究会
- ・テーマ「発達に困難のある学生をどのようにとらえ支援するか」研修会

学校の日常は公式フェイスブック、Instagram でどうぞ。本校 HP からも見られます



上半期計画

- 5月 16日 防災訓練
- 20日 3 年生実習開始
- 6月 5日 労働体験（成人看護学演習）
- 10日 2 年実習開始
- 21日 1 年生中間試験（～24 日）
- 23日 山梨民医連看護・介護活動交流集会
- 7月 6日 学校説明会 8日 1 年生実習開始
- 14日 キャンプ（保健体育・～16 日）
- 19日 3 年生社会福祉演習発表会
- 20日 学校説明会
- 26日 終業（夏季休業～8 月20 日）
- 27日 雑草祭
- 30日 父母の会学年合同部会・第一回役員会
- 8月 4日・8日 オープンキャンパス
- 21日 3 年生期末試験（～22 日）
- 30日 1 年生期末試験（～9 月3 日）
- 9月 9日 1 年生実習開始（～9 月20 日）
- 24日 2 年生期末試験（～9 月24 日）

編集後記：朝晩の寒暖差はありますが花壇のすずらんが満開となり、爽やかな季節です。本号で学校の活気が伝われば幸いです。山梨県の選挙管理委員会から学校に若い人達へ投票を呼びかけてとの依頼がありました。夏には参議院選挙です。医療や福祉等日常のことから国の進路まで自分自身の問題として捉え、平和や人権の尊重を深く願う看護師になって欲しい。春休みに学生と教員が沖縄に行きました。平和と医療の関係を考える記事は次号にしました。（K・M）